知多市 地震防災マップ

知多市は、いつ起きてもおかしくないと言われる「東海地震」と今後30年以内に60～70%の確率で起こるとされている「東南海地震」に対して、著しい災害が生じる恐れのある地域として、東海地震に係る『地震防災対策強化地域』や『東南海・南海地震防災対策推進地域』に指定されています。

市民の皆様に、地震や予想される被害についての知識を身に付け、日頃から地震に対する備えをしていただくために、東海地震と東南海地震が連動して発生した場合を想定して、揺れやすさマップ（表面）と危険度マップ（裏面）を作成しました。

CHITA

お問い合わせ先　知多市防災安全課　〒478-8601　愛知県知多市緑町1番地　TEL0562-33-3151　FAX 0562-32-1010　URL:http://www.city.chita.aichi.jp

日ごろの備え

避難生活最初の約3日間は、自力で生活することになるかもしれません。何をどれだけ準備しておけばよいか、家族で話し合ってみましょう。

非常持出品

退避時にまず持ち出す

●生活用品
□衣類・下着　□タオル　□ティッシュ
□懐中電灯　□携帯ラジオ・予備乾電池など

●貴重品
□現金（小銭も）　□通帳・印鑑
□権利証書　□健康保険証など

●非常食関係
□飲料水　□乾パン
□紙皿など食器　□缶切りなど

●救急医療品
□傷薬・包帯・ばんそうこう
□かぜ薬・胃腸薬など

非常備蓄品

災害復旧までの数日間（最低3日）分準備する

●生活用品
□毛布・寝袋　□新聞紙　□洗面用具
□鍋・やかん　□トイレットペーパー
□筆記用具・バケツなど

●非常食
□飲料水（1人1日3リットルを目安に）
□保存食（缶詰やレトルト食品など）
□チョコレートなどの菓子類
□調味料など

●燃料
□卓上コンロ　□携帯コンロ
□ガスボンベ　□固形燃料など

NTT災害用伝言ダイヤル171

安否の確認などの連絡に家族間や知人間などの連絡に活用できます。

ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

■利用可能な端末
NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS

■録音時間
1伝言30秒以内

■蓄積伝言数
1電話番号あたり1～10伝言

■伝言保存期間
2日間（48時間:自動消去）

伝言の録音方法

171 → 1 →（×××× ）××－××××

ガイダンスが流れます

市外局番からダイヤルしてください。

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

伝言の再生方法

171 → 2 →（×××× ）××－××××

ガイダンスが流れます

市外局番からダイヤルしてください。

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

家族や親戚などの連絡先

名　前	勤務先・学校等	電 話 番 号	備　考

平成20年3月　発行／知多市

この印刷物は環境にやさしい大豆油インキを使用しています

揺れやすさマップ（震度予測図）

『揺れやすさマップ』って何？

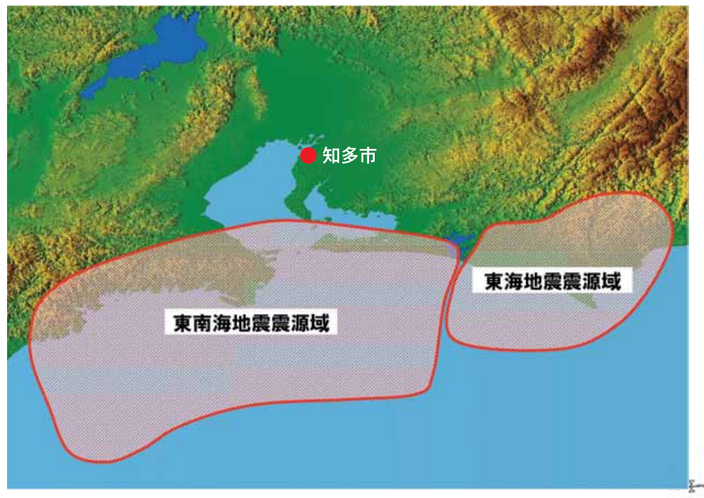
この「揺れやすさマップ」は、知多市の地形や地盤の状況をモデル化して、地表での揺れを計測震度と呼ばれる指標で表したマップです。東海地震と東南海地震が同時に発生し、マグニチュード8クラスの地震が起きた場合を想定して知多市全域の震度予測を行い、約50m四方のメッシュ毎に表現しています。

東海地震・東南海地震ってどんな地震？

東海地震・東南海地震は、プレートの境目で起こる海溝型地震です。

海溝型地震とは、大陸プレートの先端部が、海洋プレートに引き込まれることにより"ひずみ"が生まれ、その"ひずみ"が限界を超え、戻ろうとするときに発生する地震です。

過去にも100～150年の周期で大規模な地震が起こっており、東海地震はいつ起きてもおかしくないといわれています。また、東南海地震は今後30年以内に60～70%の確率で起こるとされています。



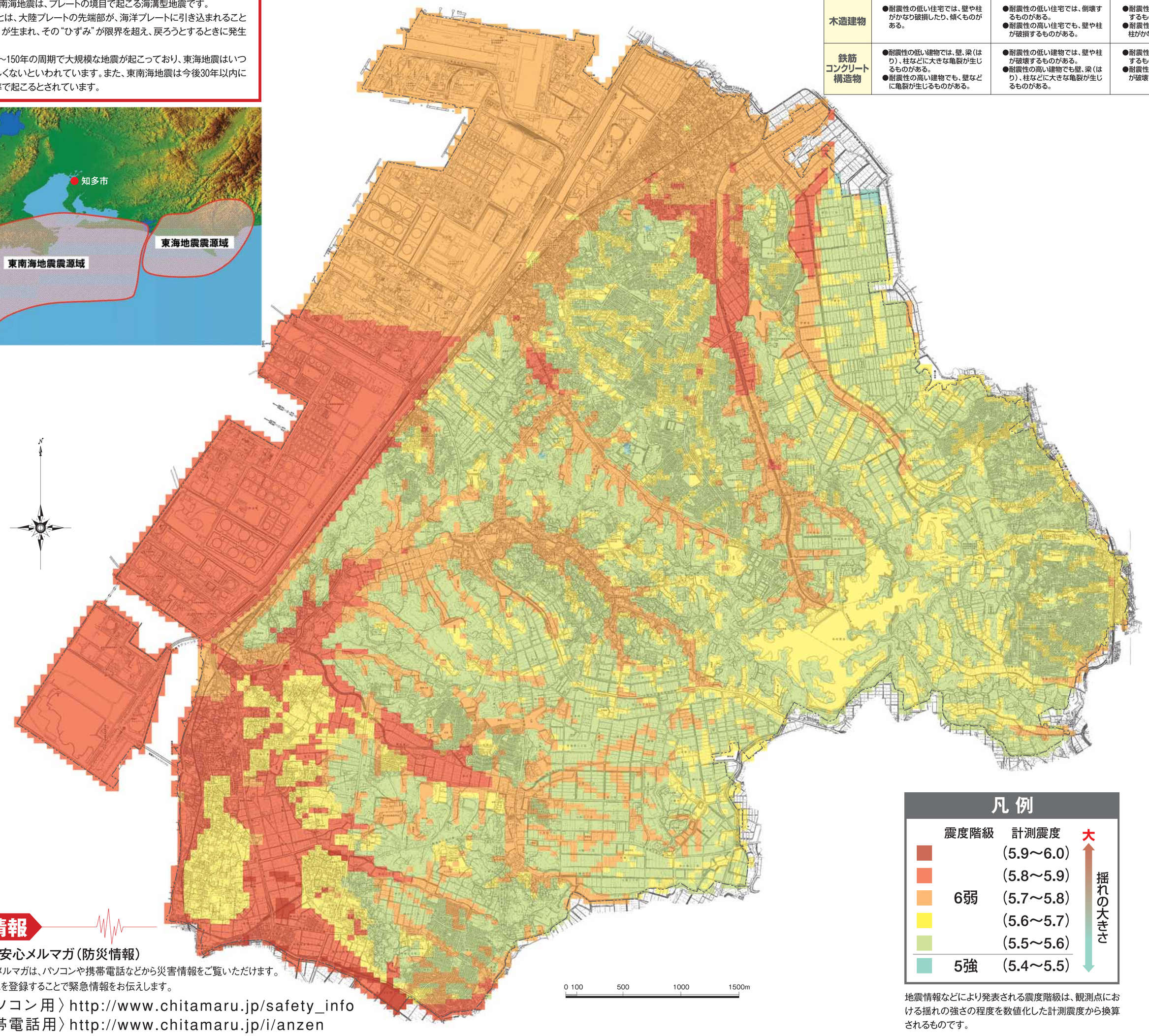
知多市はどれくらい揺れるの？

東海地震と東南海地震が同時に発生した場合、知多市では、ほとんどの地域で震度6弱の強い揺れが予想されます。

震度6弱では、耐震性の低い住宅は倒壊の恐れがあります。揺れの大きさを確認して、建物の耐震性について考えてみてください。

震度と予想される現象

震度階級	5強	6弱	6強
計測震度	5.0以上5.5未満	5.5以上6.0未満	6.0以上6.5未満
人	●非常な恐怖を感じる。 ●多くの人が、行動に支障を感じる。	●立っていることが困難になる。	●立っていることができず、はわないと動くことができない。
屋内	●棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。 ●タンスなど重い家具が倒れることがある。 ●変形によりドアが開かなくなることがある。	●固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。 ●開かなくなるドアが多い。	●固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。 ●戸が外れて飛ぶことがある。
屋外	●補強されていないブロック塀の多くが崩れる。 ●多くの墓石が倒れる。 ●自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。	●かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	●多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 ●補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
木造建物	●耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	●耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。 ●耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。	●耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。 ●耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。
鉄筋コンクリート構造物	●耐震性の低い建物では、壁、梁（はり）、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。 ●耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある。	●耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。 ●耐震性の高い建物でも壁、梁（はり）、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。	●耐震性の低い建物では、倒壊するものがある。 ●耐震性の高い建物でも、壁、柱が破壊するものがかなりある。



凡例

震度階級	計測震度
6弱	(5.9～6.0)
	(5.8～5.9)
	(5.7～5.8)
	(5.6～5.7)
	(5.5～5.6)
5強	(5.4～5.5)

大 ↑ 揺れの大きさ ↓

地震情報などにより発表される震度階級は、観測点における揺れの強さの程度を数値化した計測震度から換算されるものです。

災害時情報

ちたまる安全安心メルマガ（防災情報）

ちたまる安全安心メルマガは、パソコンや携帯電話などから災害情報をご覧いただけます。
また、メールアドレスを登録することで緊急情報をお伝えします。

〈パソコン用〉http://www.chitamaru.jp/safety_info
〈携帯電話用〉http://www.chitamaru.jp/i/anzen